

MD050_SPF_COS_002 HHT帳票	説明: HHT取引データで販売実績テーブル作成後(HHT納品データ取込後)に出力する帳票	作成日	2008/08/18	作成者	SCS中林	更新日	2009/03/13	更新者	SCS中林	Ver.	
-------------------------	--	-----	------------	-----	-------	-----	------------	-----	-------	------	--

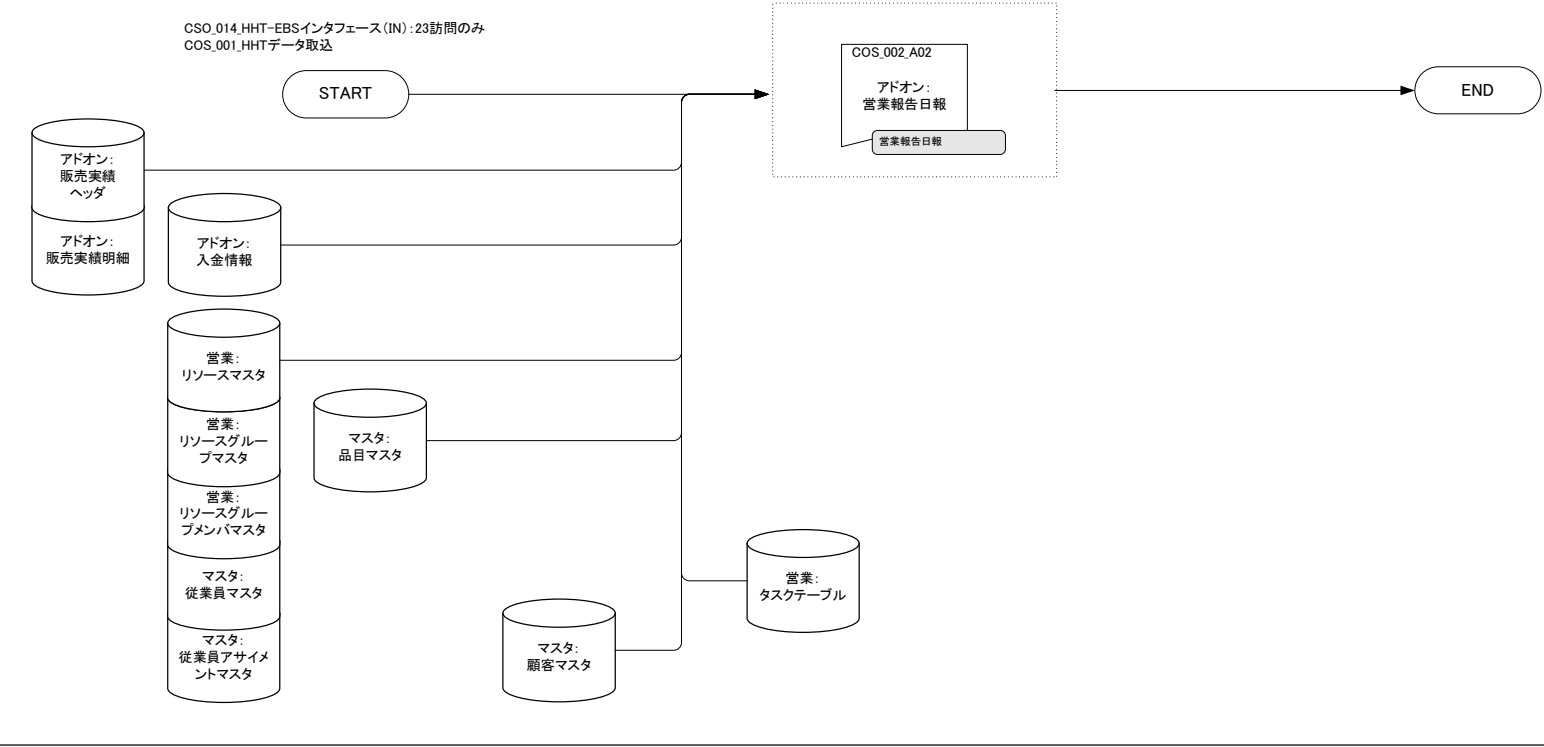
処理概要
営業員が帰社後、当日の成績を確認するために帳票を出力する
①営業報告日報
・現行の営業報告日報にあたる帳票

システム利用者
拠点 営業管理者

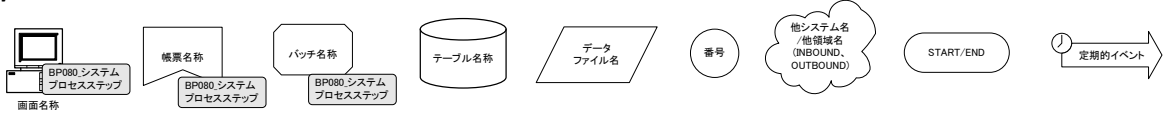
処理タイミング、その他
営業員の帰社によりHHTデータの吸い上げが行われた後、必要に応じて実行する
(HHT納品データおよび訪問実績の取込処理は一時間間隔での定期実行)

システムプロセス 記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COS_002 HHT帳票	説明: HHT取引データで販売実績テーブル作成後(HHT納品データ取込後)に出力する帳票	作成日	2008/06/11	作成者	ORACLE 木村	更新日	2016/03/30	更新者	SCSK仁木	Ver.	Issue3.1
-------------------------	--	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	--------	------	----------

処理概要

HHT納品データから作成された販売実績データの確認を行うために、納品書チェックリスト、売上金額差異リストを出力する
HHT納品データは、EBSへ連携されると当日中に販売実績データの作成まで行われるため、データの確認は翌日となる

システム利用者

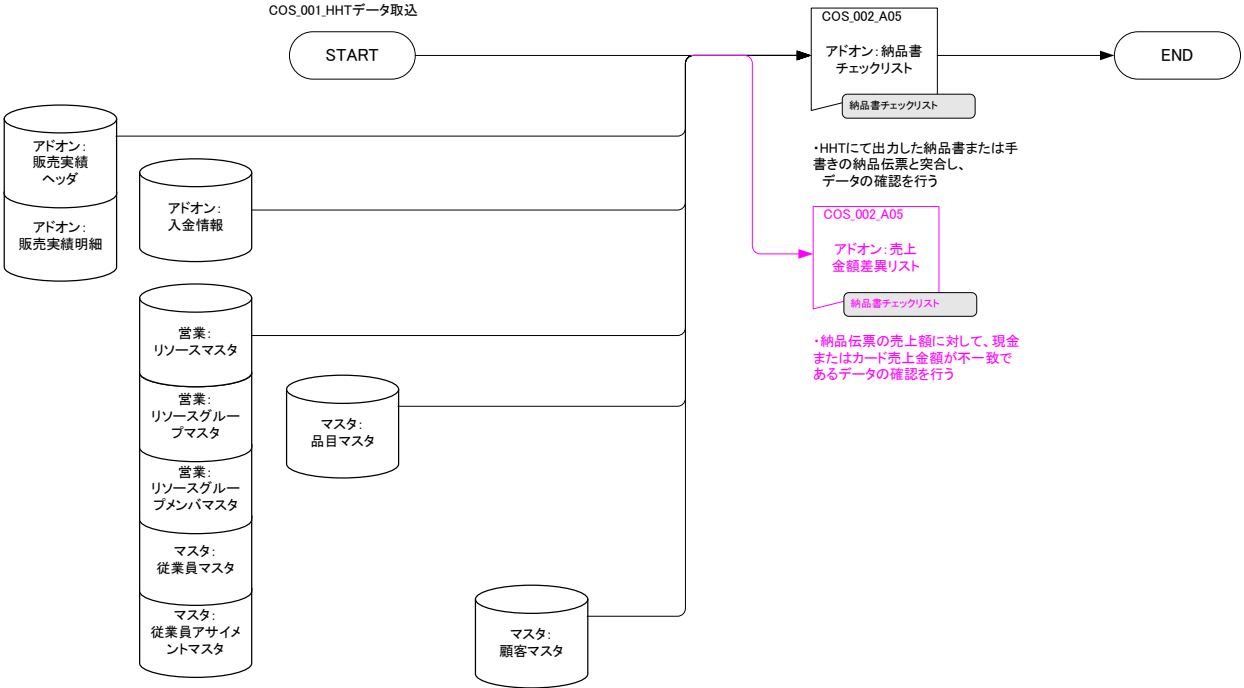
拠点 内務担当者、地域営業管理部_担当者

処理タイミング、その他

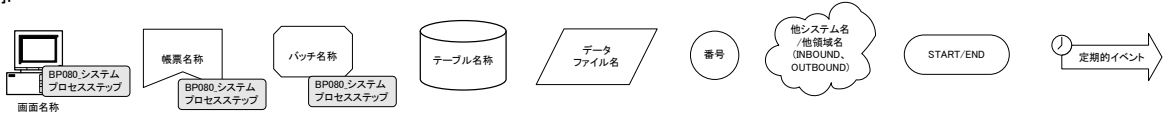
販売実績データが作成された翌日、必要に応じて実行する

システムプロセス 記入時の注意事項

- 機能単位(標準機能含む)で記入すること
- INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COS_002 HHT帳票	説明: HHT取引データで販売実績テーブル作成(HHT納品データ取込後)及び実績振替データ作成後に出力する帳票	作成日	2008/08/18	作成者	SCS中林	更新日	2009/03/13	更新者	SCS中林	Ver.	Issue3.0
-------------------------	---	-----	------------	-----	-------	-----	------------	-----	-------	------	----------

処理概要

営業員が前日迄の確定実績を確認するために帳票を出力する
①営業員成績表
・現行の営業成績表にあたる帳票

システム利用者

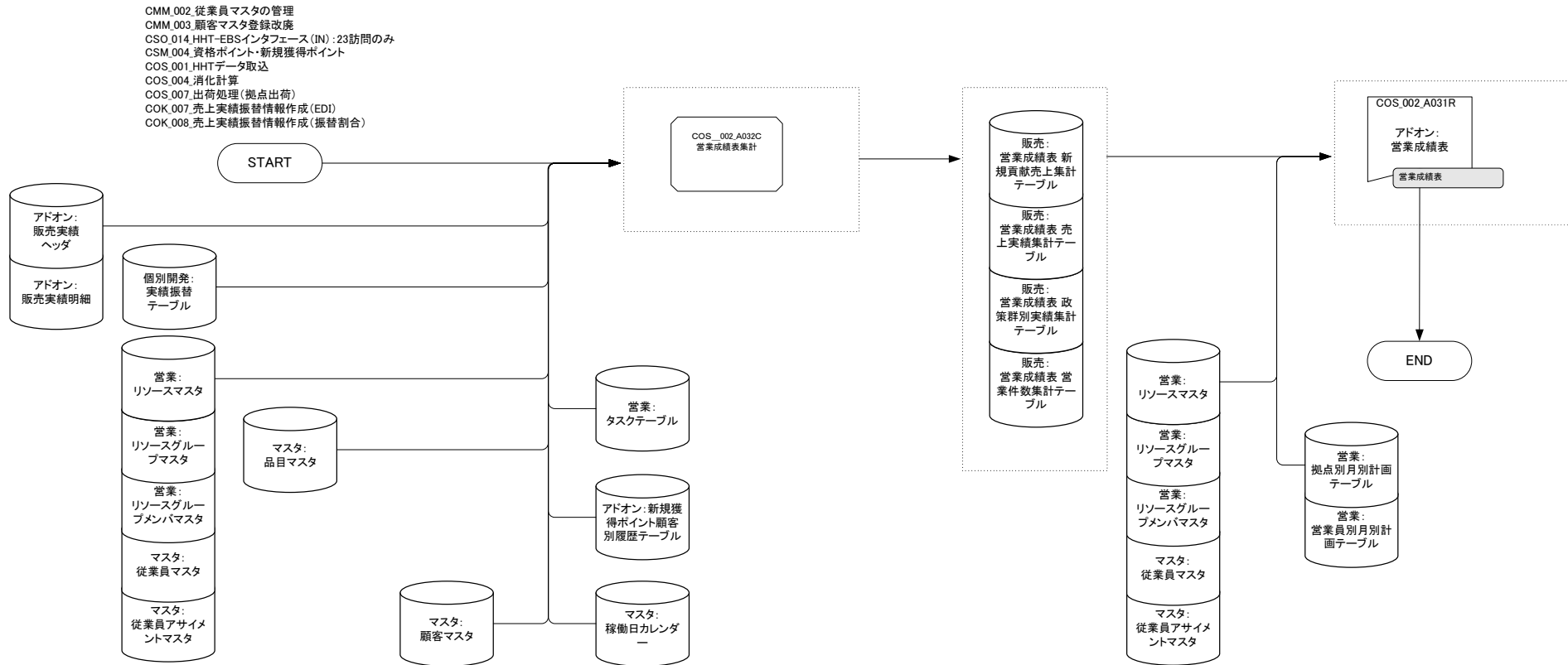
拠点_営業管理者

処理タイミング、その他

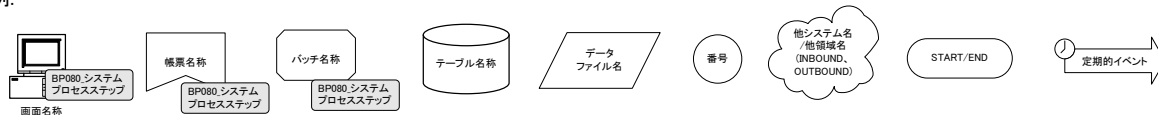
毎朝、前日の確定した販売実績データの確認に帳票を出力する。

システムプロセス 記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

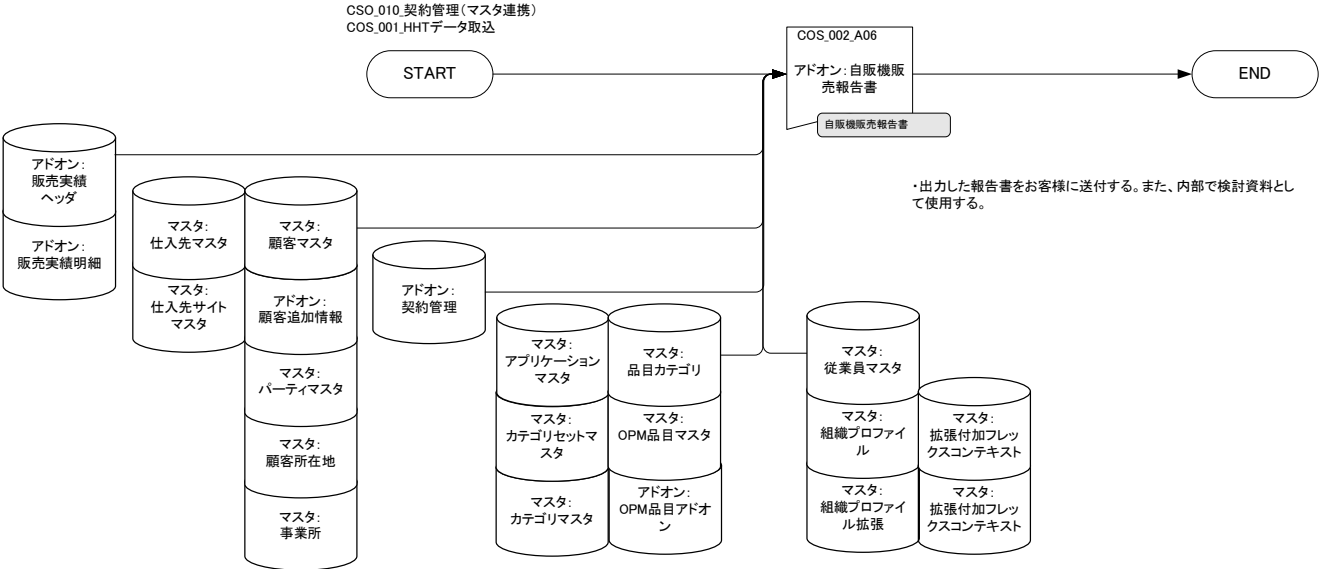


処理概要
HHT納品データから作成された販売実績データから、お客様に送付する自販機販売報告書を出力する。
内部での検討資料としても使用する。

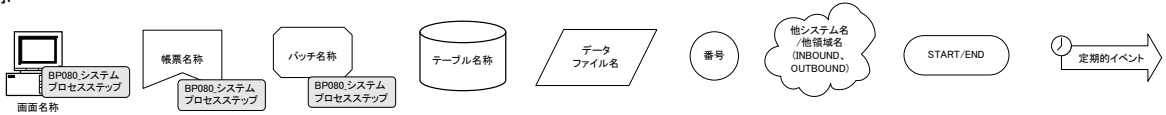
システム利用者
拠点 内務担当者、拠点 営業担当者

処理タイミング、その他
実績確定後の出力となるが、随時実行可能。

- システムプロセス 記入時の注意事項**
- 機能単位(標準機能含む)で記入すること
 - INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
 - I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
 - 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
 - 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
 - フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
 - 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



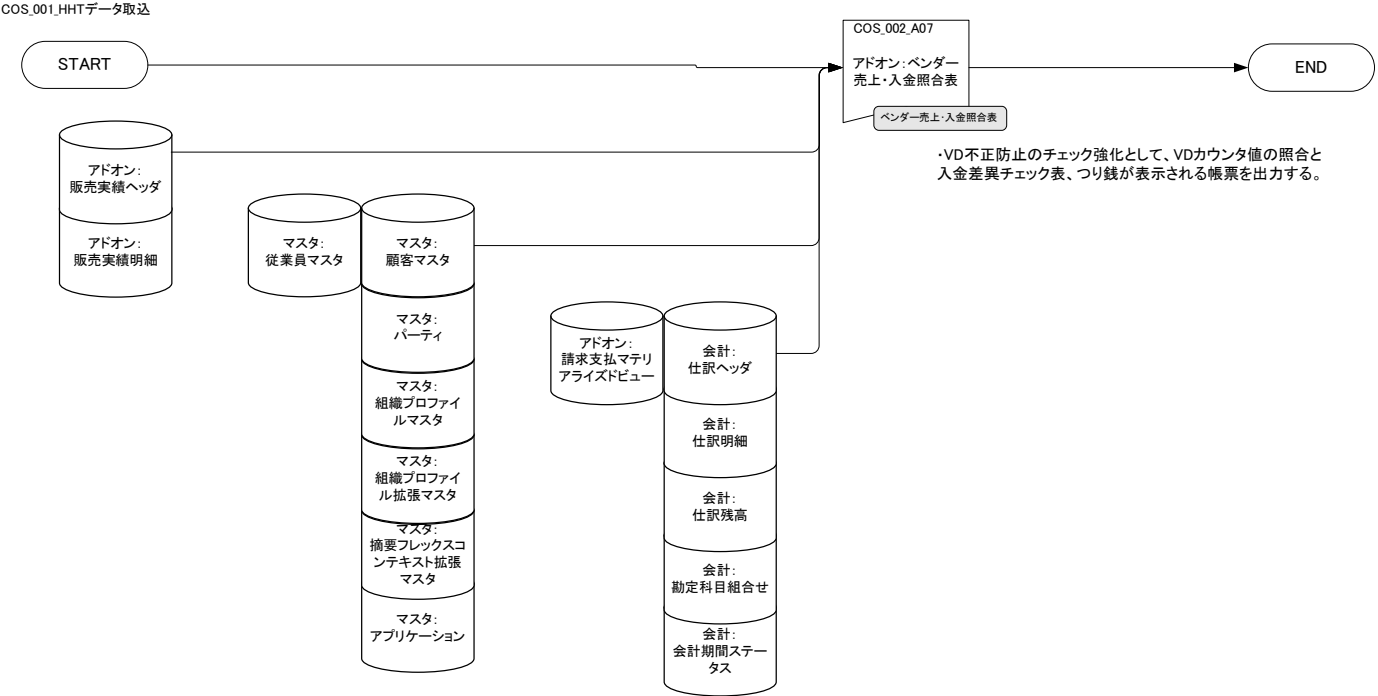
MD050_SPF_COS_002 HHT帳票	説明: HHT取引データで販売実績テーブル作成後(HHT納品データ取込後)に出力する帳票	作成日	2013/01/16	作成者	SCSK中村	更新日	2013/01/16	更新者	SCSK中村	Ver.	Issue1.0
-------------------------	--	-----	------------	-----	--------	-----	------------	-----	--------	------	----------

処理概要
HHT納品データから作成された販売実績データから、VD不正防止のチェック強化として、VDカウンタ値の照合と入金差異チェック表、つり銭が表示される帳票を出力する。

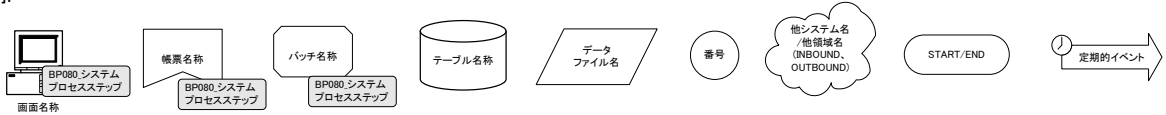
システム利用者
拠点 内務担当者、拠点 営業担当者
自販機部 担当者、地域営業管理部 担当者、業務管理部 担当者

処理タイミング、その他
月初に前月、当月分を出力。ただし、随時実行可能。

- システムプロセス 記入時の注意事項**
- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
 - ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
 - ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
 - ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
 - ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
 - ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
 - ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COS_002 HHT帳票	説明: HHT取引データで販売実績テーブル作成後(HHT納品データ取込後)に出力する帳票	作成日	2013/06/17	作成者	SCSK小山	更新日		更新者		Ver.	Issue1.0
-------------------------	--	-----	------------	-----	--------	-----	--	-----	--	------	----------

処理概要

営業員または拠点ごとに前日までの目標達成状況メール配信する

システム利用者

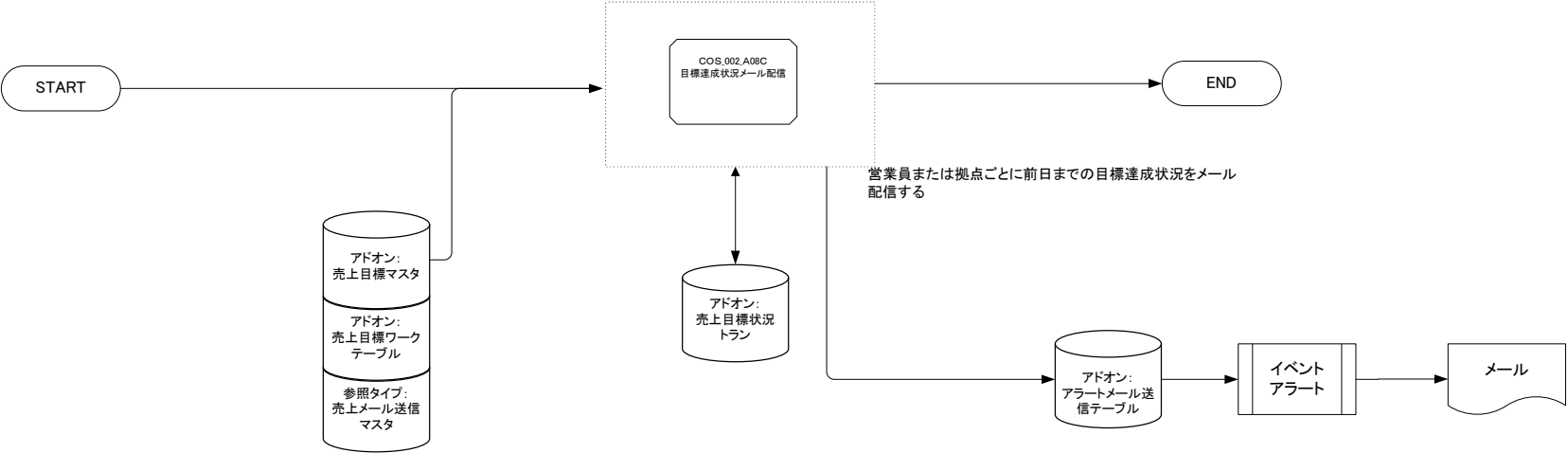
システム管理者(定時自動起動)

処理タイミング、その他

前日夜間処理により売上目標の集計が完了していることを前提に営業日の朝とする

- システムプロセスフロー 記入時の注意事項

 - 機能単位(標準機能含む)で記入すること
 - INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
 - I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
 - 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
 - 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
 - フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
 - 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

